

プレスリリース

株式会社IMAGICA TVが制作・発売したブルーレイ・ディスク『山猫』が、
「第4回 DEGジャパン・アワード／ブルーレイ大賞」において、
〈グランプリ〉と〈ベストレストア／名作リバイバル賞〉をダブル受賞いたしました。

昨日2月15日、映像コンテンツメーカーや映像機器メーカーなど38社（2012年2月1日現在）による業界団体DEG（デジタル・エンターテインメント・グループ）ジャパンの主催する「第4回 DEGジャパン・アワード／ブルーレイ大賞」授賞式におきまして、株式会社IMAGICA TV（東京都港区白金台）が昨年6月に発売したブルーレイ・ディスク『山猫』が、部門賞である〈ベストレストア／名作リバイバル賞〉と、各部門受賞作品の中から最もブルーレイの特長を引き出している作品に与えられる最高賞＝グランプリを受賞いたしました。

『山猫』はイタリア映画界の巨星ルキノ・ヴィスコンティの代表作にして、1963年カンヌ国際映画祭グランプリに輝いた壮大なスケールの傑作。19世紀半ばのシチリアを舞台に、自分の時代の終わりを感じている名家の貴族が、新しい世代、階級に道を譲る準備をしながらも、自らの威厳を失わずにいようとする高潔な姿を描いた作品です。ブルーレイ・ディスク『山猫』は、本編の撮影監督ジュゼッペ・ロトゥノの監修の下、オリジナ・ネガ（一部そのコピーのポジ）から12,000時間もの作業を経てレストア（修復）されたHDマスターを使用しています。修復の資金はイタリアのファッション・ブランドのグッチと、映画監督マーティン・スコセッシ（『タクシー・ドライバー』『ヒューゴの不思議な発明』）が率いる米国の映画保存・修復NPOザ・フィルム・ファウンデーションが調達しました。

DEG ジャパン・アワード／ブルーレイ大賞は、2009年に始まり、前年1年間に国内で発売されたブルーレイ・ソフトを対象として、ブルーレイの特長を最も生かした映像作品を、ユーザー投票・審査員投票によって審査・表彰するアワードです。審査委員長のオーディオ・ヴィジュアル評論家・麻倉怜士氏ほか評論家2名と、映画誌、オーディオ・ヴィジュアル専門誌7誌の編集長ほかによる選考で賞が決定され、2009年の第1回は『ダークナイト』（発売元：ワーナー エンターテインメント ジャパン株式会社）、2010年の第2回は『崖の上のポニョ』（発売元：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社）、2011年の第3回は『アバター ブルーレイ版エクステンデッド・エディション』（発売元：20世紀フォックス ホームエンターテインメント ジャパン株式会社）がそれぞれグランプリを受賞しています。今回の『山猫』のような、およそ50年も前の旧作がグランプリを受賞するのは初めてのことであり、またDEGジャパン非加盟社の商品が受賞するのも初めてのこととなりました。

選考委員による講評です。「グランプリとして文句なしの作品である。ヴィスコンティ監督のこの名作のオリジナルフィルムには、ここまで豊潤な情報量があったのかと驚かされる。伯爵家の金色のカーテン、真紅の絨毯、古色蒼然の壁の色など、ヴィスコンティが追求した本物の邸宅の質感が、光輝くように迫って見える、深い映像表現力に感動を禁じ得ない。最近、昔見た名作をもう一度見直すユーザーが増えている。この作品のように、世界的な名作を徹底的にレストアし、大切に発売することは、ブルーレイ・ディスクの今後の重要なミッションという意味も込めて、グランプリを与えたい。」

他の受賞作品等はDEGジャパンのホームページ <http://www.deg-japan.jp/> をご参照ください。



ブルーレイ・ディスク『山猫』

品番 KKBS-5 税込 7,560円（税抜 7,200円） イタリア＝フランス合作
本編186分／カラー／ワイドスクリーン 2.55:1／イタリア語モノラル リニアPCM
日本語字幕／片面・2層／デジパック仕様／44pブックレット封入
商品の詳しい情報は<http://www.cinefil-imagica.com/dvd/yamaneko/> をご参照ください。



会場スクリーンでグランプリが発表。



受賞挨拶をする代表取締役社長・伊藤 明。



各章受賞者の記念撮影。



受賞のトロフィー。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社IMAGICA TV 広報 伊藤 崇 (ito.takashi@imagica.jp) tel. 03-5421-8274までお願いします。